



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヨコオ

コード番号 6800 URL <http://www.yokowo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 徳間 孝之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 横尾 健司

TEL 03-3916-3111

四半期報告書提出予定日 平成25年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	8,127	9.5	171	△42.3	329	45.2	329	348.9
25年3月期第1四半期	7,421	27.7	297	—	226	—	73	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 728百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △352百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	16.48	—
25年3月期第1四半期	3.67	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	25,994	17,001	65.4
25年3月期	24,140	16,373	67.8

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 17,001百万円 25年3月期 16,373百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.00	—	5.00	9.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	4.00	—	5.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,000	0.6	550	△1.0	430	1.2	290	39.9	14.50
通期	31,000	6.1	1,200	126.8	930	△3.5	620	3.6	30.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	20,849,878 株	25年3月期	20,849,878 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	844,838 株	25年3月期	844,788 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	20,005,065 株	25年3月期1Q	20,005,281 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、中国・インドなどの新興国経済の減速と欧州不況の一方で、米国の景気回復傾向が強まり牽引力となりつつありますが、米国の量的緩和に関する言動に新興国の株式市場が大きく影響されるなど、依然として緩和マネー頼みの不安定な情勢が続いております。

わが国におきましては、大規模な金融緩和策の影響などから1米ドル100円前後の為替水準が定着する傾向にあり、製造業を中心とした景況感の改善とともに、株価の大幅な上昇などを背景に個人消費主導で景気回復に向かう動きが見え始めました。

当社グループの主要市場である自動車市場、半導体検査市場、携帯端末市場におきましては、成長を牽引する環境対応車やスマートフォン／タブレット端末関連分野での覇を競って熾烈な競争が繰り広げられており、世界シェア上位が容易に変わり得る状況にあります。

このような状況の中、当社グループは、中期経営基本目標の一つである「連結売上高300億円への回帰」の実現とさらなる収益力向上に向けて、経営基本方針に掲げる3つのイノベーション（プロダクト／プロセス／パーソネル）の推進に取り組んでおります。当第1四半期におきましては、マレーシア工場への生産移管の進捗遅れ挽回を最重点に注力し、原価低減活動のさらなる徹底と併せて、回路検査用コネクタセグメントにおける収益改善に努めました。また、主力生産拠点化を推進中のベトナム工場は、品質確保のためのコストが膨らんだことなどから、車載通信機器セグメントにおける利益率低下の一因となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、回路検査用コネクタセグメントが前年同期比で減収となった一方、車載通信機器セグメント及び無線通信機器セグメントが増収となったことにより、81億2千7百万円（前年同期比+9.5%）となりました。営業損益につきましては、製品・事業構成の変化などによる利益率低下、中国における労務費増加、ベトナム工場でのコストアップなどにより、1億7千1百万円の利益（前年同期比△42.3%）と、前年同期比で大幅な減益となりました。経常損益につきましては、円安進行に伴う為替差益1億3千7百万円の計上などにより、3億2千9百万円の利益（前年同期比+45.2%）と、前年同期比で増益となりました。四半期純損益につきましては、固定資産除却損など特別損失8百万円を計上したものの、税金費用の減少により、3億2千9百万円の利益（前年同期比+348.9%）と、前年同期比で大幅な増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

**<車載通信機器>**

当セグメントの主要市場である自動車市場は、中国・インド・ブラジルなど新興国の経済成長が減速しつつあるものの、着実に拡大を続けております。一方、国内におきましては、米国・アセアン向けを中心に輸出が増加いたしました。前期に実施されたエコカー補助金制度の反動減で国内の新車販売は減少いたしました。

このような状況の中、当社グループの主力製品であるマイクロアンテナをはじめとする自動車メーカー向け製品は、米国向けを中心に海外向けの販売が順調に推移し、前年同期を上回りました。一方、国内向けを主とするフィルムアンテナやETC車載アンテナの販売は、新車販売台数減少の影響などから、前年同期を下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は48億4千2百万円（前年同期比+5.5%）と、前年同期比で増収となりました。セグメント損益につきましては、3千万円の利益（前年同期比△84.3%）となりました。

**<回路検査用コネクタ>**

当セグメントの主要市場である半導体検査市場は、パソコン向けの検査需要は減少に歯止めがかからない状況にありますが、世界的な普及拡大が続くスマートフォン／タブレット端末向けやクラウドコンピューティング向けは順調に拡大するものと見られております。

このような状況の中、当社グループの主力製品であるIC検査用BGAソケット及び垂直プローブカードの販売は、スマートフォン／タブレット端末向け検査需要の積極的な取り込みなどにより、前年同期を上回りましたが、その他の製品の販売は、国内顧客からの受注減少などにより前年同期を大幅に下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は14億2千万円（前年同期比△0.9%）と、前年同期比で若干の減収となりました。セグメント損益につきましては、4千万円の利益（前年同期比△66.1%）となりました。

**<無線通信機器>**

当セグメントの主要市場である携帯端末市場は、順調に利用拡大が進むスマートフォン／タブレット端末に牽引され、成長が続いておりますが、セットメーカーなど供給側においては、競争優位の世界大手数社による寡占化が進んでおります。

このような状況の中、微細スプリングコネクタを中核製品とするファインコネクタ事業におきましては、一部の海外大手顧客からの受注が回復し、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

携帯電話機向けアンテナ事業につきましては、海外大手顧客からの受注が好調に推移し、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

当セグメントに含めておりますメディカル・デバイス事業につきましては、ガイドワイヤユニットなど組立加工ビジネスの着実な拡大により、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は18億6千3百万円（前年同期比+33.2%）と、前年同期比で大幅な増収となりました。セグメント損益につきましては、7千8百万円の利益（前年同期比+203.5%）となりました。

**（事業セグメント別連結売上高）**

（単位：百万円、%）

	前第1四半期 自平成24年4月 至平成24年6月	前四半期 自平成25年1月 至平成25年3月	当第1四半期 自平成25年4月 至平成25年6月	前年同期比	前四半期比
	売上高	売上高	売上高	増減率	増減率
車載通信機器	4,588	4,246	4,842	+5.5	+14.0
回路検査用コネク	1,434	1,224	1,420	△0.9	+16.0
無線通信機器	1,399	1,748	1,863	+33.2	+6.6
合計	7,421	7,220	8,127	+9.5	+12.6

(2) 財政状態に関する説明

（総資産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金増加6億2千5百万円、売上債権増加3億8千8百万円、たな卸資産増加2億2千8百万円、有形固定資産増加3億4千6百万円などにより、259億9千4百万円（前連結会計年度末比18億5千3百万円の増加）となりました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債は、賞与引当金減少1億7千8百万円などに対し、仕入債務増加2億3千4百万円、短期借入金増加6億円などにより、89億9千2百万円（前連結会計年度末比12億2千5百万円の増加）となりました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、四半期純利益3億2千9百万円の計上、為替換算調整勘定増加3億1千1百万円、その他有価証券評価差額金増加8千7百万円、配当金の支払1億円などにより、170億1百万円（前連結会計年度末比6億2千7百万円の増加）となりました。

（自己資本比率）

当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は65.4%（前連結会計年度末比△2.4ポイント）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前記「(1)経営成績に関する説明」に記載のとおり、当第1四半期連結累計期間の業績は、営業利益以外は業績予想値に対して概ね良好な進捗となりました。現時点では、第2四半期における当社主要市場動向及び受注動向は概ね想定範囲内で推移するものと見ており、マレーシア工場への生産移管の効果や、ベトナム工場を含む品質管理体制の適正化などによる収益性改善も見込んでおりますが、為替相場など不安定要素を考慮し、第2四半期累計期間及び通期の業績予想は変更いたしません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,609,895	4,235,367
受取手形及び売掛金	6,154,856	6,543,125
商品及び製品	1,542,262	1,912,763
仕掛品	395,112	154,107
原材料及び貯蔵品	1,502,023	1,600,667
その他	1,003,937	1,102,477
貸倒引当金	△1,804	—
流動資産合計	14,206,282	15,548,508
固定資産		
有形固定資産	6,471,760	6,818,301
無形固定資産		
その他	990,318	976,536
無形固定資産合計	990,318	976,536
投資その他の資産	2,472,526	2,650,797
固定資産合計	9,934,604	10,445,634
資産合計	24,140,887	25,994,143
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,514,400	3,749,376
短期借入金	500,000	1,100,000
未払法人税等	136,294	145,379
賞与引当金	338,757	159,884
その他	1,541,142	2,133,409
流動負債合計	6,030,594	7,288,049
固定負債		
長期借入金	500,000	500,000
退職給付引当金	276,256	263,273
その他	960,103	940,891
固定負債合計	1,736,359	1,704,164
負債合計	7,766,954	8,992,214
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,996,269	3,996,269
資本剰余金	3,981,928	3,981,928
利益剰余金	9,106,477	9,336,130
自己株式	△991,203	△991,230
株主資本合計	16,093,471	16,323,097
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	260,662	347,844
為替換算調整勘定	19,799	330,987
その他の包括利益累計額合計	280,461	678,831
純資産合計	16,373,933	17,001,929
負債純資産合計	24,140,887	25,994,143

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	7,421,596	8,127,147
売上原価	5,829,816	6,528,073
売上総利益	1,591,779	1,599,074
販売費及び一般管理費	1,293,832	1,427,126
営業利益	297,946	171,947
営業外収益		
受取利息	1,170	1,883
受取配当金	21,007	21,888
為替差益	—	137,015
その他	15,498	10,495
営業外収益合計	37,676	171,282
営業外費用		
支払利息	8,712	8,084
為替差損	93,348	—
その他	6,842	5,849
営業外費用合計	108,903	13,934
経常利益	226,719	329,296
特別利益		
固定資産売却益	354	—
特別利益合計	354	—
特別損失		
固定資産売却損	348	158
固定資産除却損	9,427	8,499
特別損失合計	9,776	8,657
税金等調整前四半期純利益	217,296	320,638
法人税、住民税及び事業税	85,412	38,211
法人税等調整額	58,442	△47,251
法人税等合計	143,854	△9,040
少数株主損益調整前四半期純利益	73,441	329,678
四半期純利益	73,441	329,678

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	73,441	329,678
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△166,505	87,182
為替換算調整勘定	△259,437	311,188
その他の包括利益合計	△425,942	398,370
四半期包括利益	△352,500	728,048
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△352,500	728,048
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,588,029	1,434,424	1,399,141	7,421,596	—	7,421,596
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	44,967	—	44,967	△44,967	—
計	4,588,029	1,479,391	1,399,141	7,466,563	△44,967	7,421,596
セグメント利益	193,209	118,821	25,933	337,965	△40,018	297,946

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	337,965
たな卸資産未実現利益調整額	△36,398
たな卸資産評価減調整額	△13,987
その他調整額	10,367
四半期連結損益計算書の営業利益	297,946

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,842,334	1,420,871	1,863,942	8,127,147	—	8,127,147
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	58,175	—	58,175	△58,175	—
計	4,842,334	1,479,046	1,863,942	8,185,322	△58,175	8,127,147
セグメント利益	30,292	40,305	78,712	149,309	22,638	171,947

(注)セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	149,309
たな卸資産未実現利益調整額	△12,594
たな卸資産評価減調整額	△21,167
その他調整額	56,400
四半期連結損益計算書の営業利益	171,947